

仁淀川の取組事例

仁淀川清流保全推進協議会(高知県)

- 高知県では、高知県清流保全条例の規定による清流保全基本方針(平成18年3月改正)に基づき、「仁淀川清流保全計画」を策定。「仁淀川清流保全計画」を流域の関係団体や行政が連携して進めていくために「仁淀川清流保全推進協議会」を平成22年から設立し活動。

【仁淀川清流保全推進協議会の活動(令和元年度実績)】

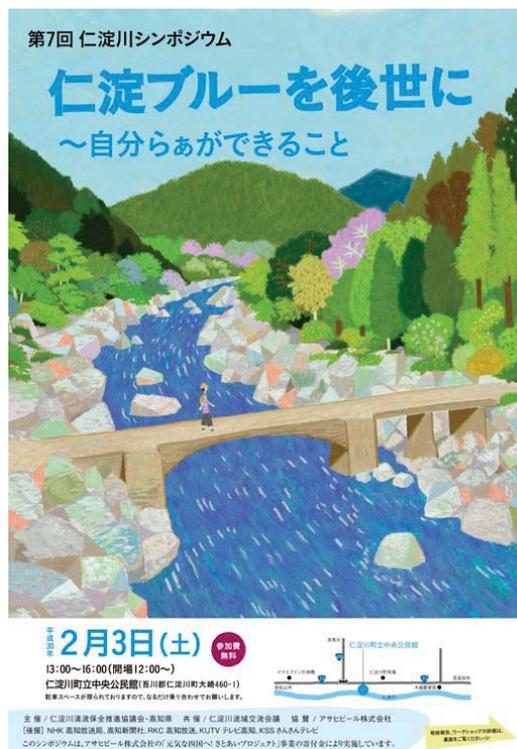
年	開催日	行事名	場所	内容
令和元年	4月17日(水)	子どもたちを川へ呼び戻すWG(第1回)	土佐市	事業計画等について
		美しい景観を保全するWG(第1回)	土佐市	川の安全教室の実施、事業計画等について
	5月18日(土)	親子ガサガサ体験教室*	いの町天王	仁淀川の石に関する講習、ストーンペイント(親子7組10名)
	5月24日(金)	河口域部会(第1回)	土佐市	平成30年度事業報告及び収支決算、平成31年度事業計画等について
	5月27日(月)	上流域部会(第1回)	仁淀川町	
		中流域部会(第1回)	越知町	
	5月29日(火)	上八川川流域部会(第1回)	いの町(吾北)	
	5月31日(金)	下流域部会(第1回)	いの町	
	6月11日(火)	全体会(第1回)	いの町	平成29年度事業報告及び収支決算、平成30年度事業計画等について
	6月13日(木)	美しい景観を保全するWG(第2回)	土佐市	ごみ勉強会の実施について
	7月12日(金)	環境学習	越知町	越知小学校4年生31名
	7月24日(水)	RAC子ども水辺安全講座	仁淀川町	池川小学校4年生10名、5年生12名
	7月25日(木)	RACアシスタントリーダー講座	いの町	参加者12名
	8月20日(火)	美しい景観を保全するWG(第3回)	土佐市	ごみ勉強会、事業の実施計画について
	8月22日(木)	子どもたちを川へ呼び戻すWG(第2回)	土佐市	事業の実施計画について
	9月26日(木)	環境学習	越知町	越知中学校2年生24名
	10月28日(月)	中流域部会(第2回)	越知町	仁淀川一斉清掃(報告)、仁淀川清流保全計画改訂について
10月30日(水)	下流域部会(第2回)	いの町		
	上流域部会(第2回)	仁淀川町		
11月13日(水)	河口域部会(第2回)	土佐市		
	上八川川流域部会(第2回)	いの町(吾北)		
12月9日(月)	全体会(第2回)	いの町	仁淀川清流保全計画の改訂について	
令和2年	1月28日(火)	ごみ勉強会「仁淀川のごみを知らう! #プラスチック・スマート」	高知市春野町	関係者でモニター実施参加者10名
	2月9日(日)	川づくり団体全国事例発表会	東京都文京区	前年度に河川基金の助成を受けた事業についての事例発表、ポスターセッション
	3月25日(水)	川本来の生態系を取り戻すWG	土佐市	
	3月26日(木)	川と人、社会、文化の関わり講座	土佐市	

【facebook「ともに生きる 土佐の自然」】(高知県環境共生課)

生物多様性こうち戦略、カーボンオフセット、自然保護、清流保全、牧野植物園など、県内の環境保全活動全般の情報を発信するため、「ともに生きる 土佐の自然(高知県環境共生課) 公式Facebookページ」を開設。

【第7回仁淀川シンポジウム「仁淀ブルーを後世に」H30.2.3】

仁淀川清流保全推進協議会では、仁淀川の清流保全を流域全体で考えていくため、平成23年度から「仁淀川シンポジウム」を開催した。



第7回仁淀川シンポジウム

仁淀ブルーを後世に ~自分らあがができること

プログラム どなたでも参加できます。ワークショップは定員60名(各テーマ30名先着順)
※定員に達していない場合は当日参加OK

取組報告(13:10~13:40)
「伝えたい仁淀川の魅力」
仁淀川町立池川小学校5年生

「今年度取り組んだ内容について」
仁淀川清流保全推進協議会

ワークショップ(13:55~15:57)
① 子どもたちを川へ呼び戻す
② 美しい景観を保全する

【ワークショップのお申し込み】
ご希望のワークショップを選択のうえ、お電話、FAX、またはメールでお申し込みください。

ご希望の「ワークショップ」をお選びください		テーマ①	テーマ②
氏名	(フリガナ)		
所属団体名			
住所	高知市・土佐市・いの町・日高村・佐川町・越知町・仁淀川町・その他()		
年齢	-10代・20代・30代・40代・50代・60代・70歳以上		

お問い合わせ
お申し込み先
仁淀川清流保全推進協議会事務局 高知県環境共生課 「仁淀川シンポジウム」係 まで
TEL: (088)821-4863 FAX: (088)821-4530 メール: 030701@ken.prof.kochi.lg.jp

活動団体

- 仁淀川流域交流会議は、仁淀川町・越知町・佐川町・日高村・いの町・土佐市・高知市を構成市町村とし、仁淀川流域の保全と流域圏の活性化を図るため、様々な事業を実施している。

【仁淀川流域交流会議】

①仁淀川親子ふれあいバスツアー

仁淀川漁業協同組合と協働して、仁淀川の自然への理解を深め、環境保全の大切さを体感していただくためのバスツアーを毎年実施している。

②「仁淀川の森と水を考える」シンポジウム

仁淀川漁業協同組合との共催で、仁淀川の良い河川環境の維持・保全・再生への取組を考えるシンポジウムを開催している。

出典：仁淀川流域交流会議



【高知県環境活動支援センター えこらぼ】

(管理運営団体：特定非営利活動法人 環境の杜こうち)

高知県環境活動支援センターは、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境にやさしいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ低炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指すために平成18年4月に設置。県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、環境情報の発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性の保全の普及活動などの事業を行っている。

<活動内容>

- (1) 環境活動や環境学習に関する情報発信
 - ・メールマガジン『えこらぼだより』の配信
 - ・環境イベント情報等の提供
 - ・活動相談、助成金情報の提供、申請書作成等の相談対応
- (2) 地域や教育現場における環境学習の支援
 - ・環境学習講師の紹介・派遣
 - ・環境学習プログラムリストの作成
 - ・環境絵日記コンテストの実施
 - ・こどもエコクラブ事業
- (3) 生物多様性地域戦略の推進
 - ・生物多様性こうち戦略推進リーダーの養成・活動支援
 - ・生物多様性こうち戦略の普及啓発
- (4) 環境イベント等の開催
- (5) その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援



実施日：令和元年10月22日(火)

出典：特定非営利活動法人 環境の杜こうち

場所：四万十市入田(四万十川河川敷のヤナギ林)

対象者：生物多様性こうち戦略推進リーダー、リーダー養成講座受講者 等

コーディネーター・ガイド：山崎 憲男 氏(生物多様性こうち戦略推進リーダー)

アドバイザー：石川 慎吾 氏(高知大学名誉教授 生物多様性こうち戦略推進リーダー)

参加者：17名

「マイヅルテンナンショウの会」が行う四万十川河川敷における県指定希少野生動植物を保護する取り組みを視察し、地域における生物多様性保全についての知見を広げるとともに、リーダー間の交流を図ることを目的に開催。当日は「マイヅルテンナンショウの会」の方々の案内で四万十川河川敷の入田ヤナギ林を散策し、希少植物のマイヅルテンナンショウを観察して保護活動の成果や課題について共有した。また、国土交通省の担当者から、昭和40年代の四万十川の原風景の保全・再生をめざす「四万十川自然再生事業」について聞き、再生事業による植生の変化や生物多様性への影響等については、高知大学名誉教授(植物生態学)の石川慎吾先生に解説をしていただくことで、学びを深めることができた。

高知県清流保全パートナーズ協定事業(高知食糧株式会社)

- 高知食糧株式会社と高知県では「協働の川づくり事業」のパートナーズ協定を平成23年より締結している。この協定に基づき、高知食糧株式会社では、環境にやさしい無洗米の売上げの一部を寄付金として清流保全活動を行う団体に助成をすることで、高知県の清流保全活動を推進することを目的としている。

高知の美しい川を未来へ



高知県×高知食糧

高知県清流保全
パートナーズ協定

高知食糧株式会社と高知県は、高知の美しい川を未来へとつないでいくため、高知県協働の川づくり事業に基づく「高知県清流保全パートナーズ協定」を締結し、弊社が販売する無洗米の売上げの一部(1キロ当たり1円)を、県内の清流保全活動にお役立ていただきます。



このステッカーがあれば
“まんま炊つきー”のお店!



出典：高知食糧株式会社

団体名	対象河川	地域	助成内容
NPO法人 元気おとよ	吉野川	大豊町	清掃活動、自然環境学習
エコワネット	仁淀川	土佐市	エコ活動推進
しあわせみかん山	物部川	香南市	体験学習、環境学習
しまんと黒尊むら	黒尊川	四万十市	清掃活動、水生生物の調査、黒尊むら祭り
しらいし物語	新荘川	津野町	清掃活動、草刈、遊歩道整備・植栽
とかの元気村	伏尾川	佐川町	外来植物除去、清掃活動
越知町地域教育推進協議会	仁淀川	越知町	川遊び
奥田川親水公園の会	奥田川	いの町	奥田川親水公園の除草、環境学習
汗見川活性化推進会	汗見川	土佐町	川遊び体験
郷地区活性化検討委員会	四万十川系、長谷川	津野町	清掃活動、環境保全活動、あめご釣り、裏源流の清掃
鏡川"魚の道"をつなぐ会	鏡川	高知市	体験型環境学習会、川の生き物ふれあい会等、魚類迷入防止パネルへのネット設置活動
鏡川子ども祭り実行委員会	鏡川	高知市	鏡川子ども祭り、水中生き物探し、物作り体験、学習及びゲーム
黒岩広瀬地区活性化協議会	上八川川	いの町	清掃活動、パネル展示
四万十の日実行委員会	四万十川	四万十市	培養液しまんとの普及活動、河川環境保全水質浄化事業、しまんとAIの普及・効果の検証
四万十楽舎	四万十川	四万十川下流域	清掃活動、河川実態調査
四万十川自然再生協議会	四万十川	四万十市	絶滅危惧種保護活動
松田リバーサイド	松田川	宿毛市	草刈り、ごみ拾い
仁淀川清流保全推進協議会	仁淀川	仁淀川流域	仁淀川シンポ、仁淀川一斉清掃
川と山・ふるさと夢の会	梅ノ木川	越知町	清掃活動、草刈り
船戸活性化委員会四万十川源流点	四万十川源流点	津野町	竹林・雑木等の伐採、環境保全・整備・親水交流活動、親水交流活動
大正中津川 やまびこ会	中津川	四万十町	伐採、ゴミ除去
知恵袋の会	物部川	香美市、香南市	清流保全、自然体験
日高の川を美しくする会	日下川	日高村	清掃活動
物部川21世紀の森と水の会	物部川	香美市	川とふれ合う機会作り、間伐体験ツアー、川の学校、川の駅
平石校下会	平石川	土佐市	あめごつかみどり大会

- 企業と連携する取組みが進められている。特に、高知県清流保全パートナーズ協定を結んでいる企業からは寄付を受け、清流保全活動に役立っている。

【アサヒビールの水源地の森保全活動】

- ・ 「水」はアサヒグループの事業に欠かすことのできない大切な資源。そのため、水をはぐくむ森の保全活動を積極的に行っている。
- ・ アサヒビール（株）四国工場が2004年、「自分たちで使う水は自分たちで保全する」という考えのもと自発的に「水源地の森保全活動」を開始。これを皮切りに全工場へと活動が拡大し、現在では全国で実施している。

【仁淀川での清流保全パートナーズ協定 (アサヒビール株式会社、有限会社高知アイス、株式会社サンプラザ)】

- ・ 仁淀川流域では、環境先進企業と「協働の川づくり事業」による協定を締結し、協働して仁淀川の清流保全に取り組んでいる。
- ・ 有限会社高知アイスは、売店でのソフトクリーム1本につき1円を積み立て、仁淀川流域における子供たちの環境学習に活用することを目的とし、寄付を行っている。
- ・ アサヒビール株式会社は「仁淀川流域交流会議」に寄付を行い、仁淀川流域の清流保全活動を協働で進めている。
- ・ 株式会社サンプラザが実施する「Love Tosa つなげよう！高知の自然・未来。サンプラザ寄付つき商品販売キャンペーン」の売上げの一部が、仁淀川清流保全推進協議会に寄付された。



NPOと連携した森林保全

- 面積の約84%を森林に覆われている高知県では、森林保全のボランティア団体が数多く活動している。

【こうち山の日ボランティアネットワーク】

- ・ こうち山の日ボランティアネットワークは、「こうち山の日」の制定趣旨に賛同する森林保全ボランティア団体による会員制のネットワーク組織。
- ・ ボランティア団体間の交流や連携を促進し、県民参加の森づくりを推進するため会員団体の輪を広げるとともに、森林ボランティアに関する情報を発信し、森づくりに対する理解や関心につなげる活動を行っている。

森・ヒト・こうち応援ネット
こうち山の日・県民参加支援公式サイト

こうち山の日とは | 森林ボランティアとは | 初めての森林活動 Q&A | ボランティア団体 | イベント検索 | 活動・イベント情報

森を笑顔にするチカラ。

新着情報 | 山を楽しむホットな話題、口コミ情報はこちらから！

お知らせ | スキルアップ情報 & 事務局だより

こうち山の日推進事業のお知らせ
2020.08.14更新
森林環境保全基金への寄附をいただきました
2020.08.09更新
第17回木の文化賞受賞（令和元年度）
2020.08.05更新
ネイチャーゲームリーダー養成講座
2019.10.09更新

Twitter 公式アカウント @morihitojp
フォローして最新情報をゲットしよう

1 助成制度・補助金情報
2 サイトポリシー | サイトのご利用にあたって
3 会員専用入口

森林ボランティアのことなど
お気軽にご相談ください
こうち山の日ボランティアネットワーク

【高知県の森林保全ボランティア団体】

- ・ 高知県には30団体(平成28年3月末現在)の森林保全ボランティア団体が登録され、県内各地域で活動を展開している。

高知県に登録されている森林保全ボランティア団体

平成28年3月末現在

西部

- 1 サンゴと森の救援隊 (土佐清水市)
- 2 グリーン・サミットにしとさ (四万十市)
- 3 しまんとグリーンボランティア (四万十市)
- 4 遊山会 (四万十市)
- 5 シマントモリモリ回 (四万十市)
- 6 西土佐やまもりーず (四万十市)
- 7 ゆずはら森林環境守隊 (幡原町)
- 8 あかいこの会 (津野町)
- 9 NPO朝霧森林倶楽部 (四万十町)
- 10 四万十樵塾 (四万十町)
- 11 NPO窪川里山を守る会 (四万十町)
- 12 NPO四万十次世代の会 (四万十町)
- 13 みつけ森林倶楽部 (四万十町)

中部

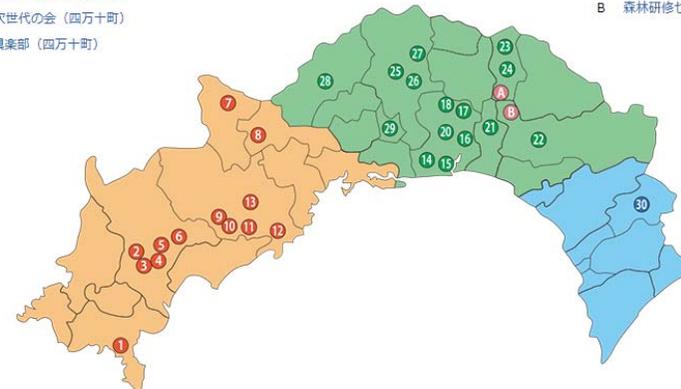
- 14 四銀森林サークル (高知市)
- 15 森の応援団・さんりん倶楽部 (高知市)
- 16 みさと森林お助け倶楽部 (高知市)
- 17 パーチャル本川村森林隊 (高知市)
- 18 こうち森林救援隊 (高知市)
- 19 チェーンソーをこよなく愛する会 (高知市)
- 20 ボランティアサークル虹の森 (高知市)
- 21 コエマツ森林部 (南国市)
- 22 森の元気！お助け隊 (香美市)
- 23 汗見川山師の会 (本山町)

東部

- 24 もとやま森援隊 (本山町)
- 25 によど川森林救援隊 (いの町)
- 26 NPO土佐の森・救援隊 (いの町)
- 27 源流森林救援隊 (いの町)
- 28 によど雑木団 (仁淀川町)
- 29 木の駅ひだか (日高村)

その他

- 30 馬路村森林救援隊 (馬路村)
- A 再喜ヶ峰森林公園 (香美市)
B 森林研修センター情報交流館 (香美市)



【仁淀川流域の森林保全ボランティア団体】

- ・ 仁淀川流域の森林保全ボランティア団体としては「によど川森林救援隊」(いの町)、NPO土佐の森・救援隊(いの町)、源流森林救援隊(いの町)、によど雑木団(仁淀川町)、木の駅ひだか(日高村)が活動を行っている。



活動内容

- 仁淀川流域交流会議 補助金事業
- 「仁淀川流域の清流保全活動」パートナーズ協定事業
- 高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金
- 国土緑化推進機構 「緑の募金」公募事業

【仁淀川流域交流会議 補助金事業】



【「仁淀川流域の清流保全活動」パートナーズ協定事業】



【高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金（高知県環境共生課）】

- 公益法人等、NPO及び任意団体等が、環境の保全と創造に関する地域の課題を解決するために実施する事業を総合的に支援する補助事業。
- 具体的には、高知県が平成28年4月に策定しました「高知県環境基本計画第四次計画」の目指す3つの社会づくり(低炭素社会づくり、循環型社会づくり、自然共生社会づくり)の方向性に沿った5つの分野
 - ①地球温暖化への対策
 - ②循環型社会への取組(3Rの推進等)
 - ③自然環境を守る取組
 - ④環境ビジネスの振興
 - ⑤環境を守り育てる人材育成に該当するハード事業及びソフト事業であって、かつ、県の環境政策と連携した取組を県内で行う事業が対象。

【国土緑化推進機構 「緑の募金」公募事業】

- 国内又は海外で行う森林整備及び緑化推進活動により森林づくり活動の新たな領域の開拓を期待するとともに、事業内容を特定した事業を募集。
- 「国民参加の森林づくり」運動の継続的・自立的な担い手の育成を目指したモデル事業、都市におけるボランティア団体等が山村地域の自治体・住民と協働で企画・実施する森林整備・交流を推進する事業を募集。
- 未来の子どもたちに豊かな国土を引き継ぐために、小・中学生の「森の学び」を支援するとともに、森林環境教育のフィールドとしての地域のシンボルとなる森づくりの取組を進める事業を、都道府県緑化推進委員会(以下「都道府県緑推」という。)の推薦に基づき、募集。

出典：(公社)国土緑化推進機構  緑の募金

令和2年度 高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金 採択事業一覧(令和2年9月15日現在)

番号	申請者	事業名	事業概要(要約)
1	特定非営利活動法人 夢創房室戸迎鯨の杜	いさな海っ子育成 プロジェクトII	磯辺での体験活動を通じて、子どもたちへの環境教育を促進する。さらに昨年から継続して生態調査を行うことにより海岸に生存する植物、海生生物の実態を明らかにし、ガイドブックのさらなる充実を図り、自然体験活動、環境保全活動に役立てていく。
2	特定非営利活動法人 仁淀川お宝探偵団	仁淀川をいっぱい 感じよう!	生徒たちへの川辺での体験活動、座学での川ゴミ、海ゴミ講座を通じて環境教育を促進する。さらに川遊びにおいて基本的な知識を習得し、水難事故の防止を目指す。
3	横倉山自然の森博物 館友の会『フォレスト ・クラブ』	廃校校舎を利用し た環境学習活動と 体制整備	地域において、自然の歴史の証拠となる標本を作製・整理・保管できる人材を養成する。その活動を展開するために廃校を利用し、標本作製講座の開催や、作製した標本を保管、研究者に利用してもらう等の体制を整備する。
計		3件	

【全国事例】中山間地域等直接支払制度

- 集落等を単位とする取決め(協定)を締結し、これに従って5年間以上農業生産活動等を継続する農業者等に対して、単位面積当たり一定額を交付する仕組み。単価は、中山間地域等と平地との生産条件格差の範囲内で設定。

交付要件

1. 制度の対象となる地域及び農用地

地域振興立法で指定された地域において、傾斜がある等の基準を満たす農用地

(1) 対象地域

- ① 「特定農山村法」「山村振興法」「過疎地域自立促進特別措置法」「半島振興法」「離島振興法」「沖縄振興特別措置法」「奄美群島振興開発特別措置法」「小笠原諸島振興開発特別措置法」等によって指定された地域
- ② ①に準じて、都道府県知事が特に定めた基準を満たす地域

(2) 対象農用地

- ① 急傾斜地(田: 1/20以上、畑・草地・採草放牧地: 15°以上)
- ② 緩傾斜地(田: 1/100以上1/20未満、畑・草地・採草放牧地: 8°以上15°未満)
- ③ 小区画・不整形な田
- ④ 高齢化率・耕作放棄率の高い集落にある農用地
- ⑤ 積算気温が低く、草地比率の高い草地
- ⑥ ①~⑤の基準に準じて、都道府県知事が定める基準に該当する農用地

2. 対象者

集落等を単位とする協定を締結し、5年間以上農業生産活動等を継続する農業者等

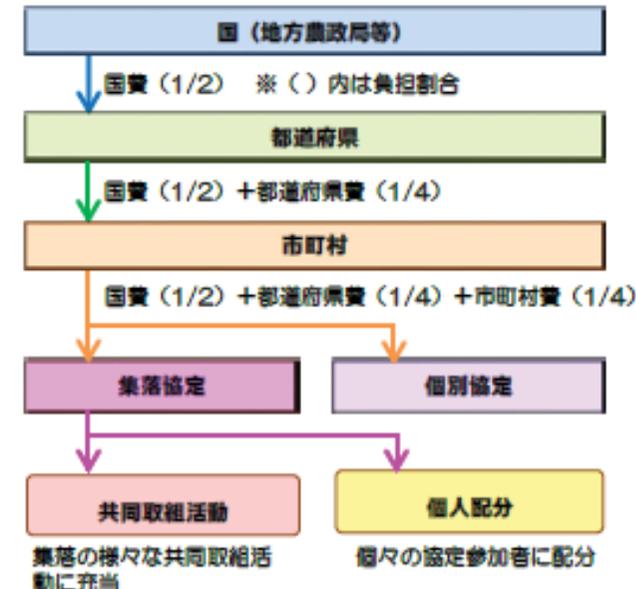
3. 交付金の使途

協定参加者の話し合いにより、地域の実情に応じた幅広い使途に活用することが可能

交付単価

地目	区分	交付単価(円/10a)
田	急傾斜(1/20~)	21,000
	緩傾斜(1/100~)	8,000
畑	急傾斜(15°~)	11,500
	緩傾斜(8°~)	3,500
草地	急傾斜(15°~)	10,500
	緩傾斜(8°~)	3,000
	草地比率の高い草地(寒冷地)	1,500
採草放牧地	急傾斜(15°~)	1,000
	緩傾斜(8°~)	300

交付金交付の流れ



【全国事例】棚田地域の活性化(棚田地域振興法)

- ボランティアと行政の支援を受け、近隣地区組織がオーナーを指導することで景観を保全している。

基本情報

- 所在地：石川県輪島市白米町（輪島市街から車で15分）
- 枚数：1,004枚（畑を含む）
- 耕作面積：約4ha（田1.8ha+畦2.2ha）
- 耕作率：約98%
- 標高範囲：4m～60m
- 平均勾配：1/4
- 法面の構造：土羽
- 開発起源：16世紀以前
- 水源：野田川
- 保全団体：（公財）白米千枚田景勝保存協議会、千枚田景勝保存会、白米千枚田愛耕会
- 棚田オーナー制：165組（H19～）
- 選定：棚田百選(H11)、国指定文化財名勝(H13)、世界農業遺産(H23)



地区の特徴、取組効果

- 地元農家の高齢化・後継者不足により営農維持が困難となった田の再生活動が、ボランティアや近隣地区（南志見地区）の住民により徐々に拡大。
- オーナー制度や各種イベントを通じて交流人口を増やし、現在は世界農業遺産に認定された能登の里山里海を代表する景観として毎年50万人以上の観光客が棚田を訪れるまでになった。耕作イベントや隣接する道の駅での営業を通じて棚田が地域活性化の拠点となっており、営農活動が景観保全に果たす役割とその重要性を伝えている。

棚田保全をめぐる関係図

